

多賀工業会 東京支部会報

2014年8月 第17号



日立風流物
(ひたちふうりゅうもの)

第33回 (H25) 同窓の集い スナップ写真集

総会 来賓の方々



壇上で支部状況等について一言ご挨拶

講演会 講師：高木重人先生



「iPS細胞の話」や「長生きの秘訣」で

懇親会 1



年輩ながら年次の若い東 學（平8院生）さんは今年も女性を含む若い世代の皆さんと同テーブルで

懇親会 2



「同窓会での活躍はこれからが本番」と期待される世代の皆さん

懇親会 3



席数最多を誇る（昭38学電）の皆さんがずらり。この写真に入っていない出席者も何人かいます。

懇親会 4



フィナーレは寮歌と校歌の斉唱。今年も橋 弘（昭38学電）さんがクラリネットを吹奏

写真展



展示写真説明に見入る矢野 睦男（昭32学原）ホームページ編集室長

カラー写真	第 33 回同窓の集いスナップ写真集	1
目次	第 17 号会報目次	2
案内	第 34 回同窓の集いご案内	3
報告	第 33 回同窓の集い報告	田中栄太郎・大泉 雅靖 4
	支部長ごあいさつ	上月 秀俊 5
	同窓の集い出席者名簿	5
	講演会概要 i P S 細胞について (講師: 高木 重人氏)	小林 渡 6
	平成 25 年度東京支部会計報告	森田 徹郎 7
	平成 26 年度東京支部会計予算	森田 徹郎 7
随筆	ラグビーの思い出	成井 浩 8
	伝説と史実のすきまにて	石川 久 9
	私とランニング	石原 健一 10
	50 歳という歳と両親の存在	二川 克美 11
	中国滞在奮闘記	重 彰記 12
	女子会観桜会	鈴木 葉子 13
支部めぐり	中国四国支部の紹介	長沼 静 14
追悼	近江顧問のご逝去を悼む	三本木 武 14
お知らせ	囲碁同好会	田中栄太郎 15
	ゴルフ部	佐藤 将彦 16
	5 支部対抗懇親コンペ	佐藤 将彦 16
	山遊会	小森 廣樹 17
	写真部	三好 成實 18
	こうかく祭写真展示	三好 成實 19
	テニス部	森永 隆宏 19
	ミニ情報 (新会長の就任)	上月 秀俊 19
	女子会	鈴木 葉子 20
	平成 25 年度会費納入者・寄付者名簿	飯塚 英一 21~22
	東京支部組織体制と担当役務	23
	東京支部会則	24
	第 33 回同窓の集い写真展出展リスト	写真部 25
	編集後記	会報編集室 25
カラー写真	平成 25 年度同窓の集い写真展出展作品の中から	26
協賛広告	上野精養軒、ジュン・ホーム、大協印刷	裏表紙

表紙の写真: 「日立風流物」 ----ひたちふうりゅうもの

撮影地・年月: 日立市平和通り 2014 年 4 月

「日立風流物」は毎年 4 月第 1 土・日に開催され、高さ 15m・幅 8m・重さ 5t の豪壮な山車で、その上の 5 層の屋根が開き、5 段の舞台であやつり人形が演じられるものです。江戸時代中期頃からと言われており、2009 年に「ユネスコ無形文化遺産」に登録されました。日立市が世界に誇る文化遺産です。撮影会は 4 月 6 日 (日) 埼玉支部ワンダーフォトクラブの主催で行われました。右の写真は表紙写真の山車の周りの人達が山車の中に入り、5 段の舞台が開いてあやつり人形が演じられているところです。 小林 渡 (昭 38 学電)



第 34 回多賀工業会東京支部同窓の集いご案内

1. 日 時 平成 26 年 10 月 19 日 (日) 午後 2 時半から

2. 場 所 上野精養軒 (右図参照)
東京都台東区上野公園 4-58
電話 03-3821-2181 (代表)

交 通 : JR 上野駅公園口下車徒歩 5 分
: 京成線京成上野駅下車徒歩 5 分
: 東京メトロ銀座線日比谷線上野駅下車
西郷隆盛像から徒歩 5 分

3. 会 費 10,000 円 (当日受付にて申し受けます)
女子会員は 5,000 円とします。

4. 総 会 午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分

5. 講演会 午後 3 時 40 分～午後 5 時 00 分

演題「東京スカイツリー余話

—鋼構造の最新技術—

講師 羽石 良一 氏 (昭 42 学精)

栃木県建築士会 副会長

(講師略歴等は下段)

6. 懇親会 午後 5 時 10 分～午後 7 時ごろまで

7. 写真展 総会の会場内に展示します。[一般会員の方からの出展を歓迎します。陳列の都合上事前に写真部連絡窓口 (18 ページ参照) の三好成實まで電話又はファックスで連絡下さい。]

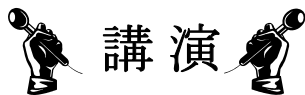
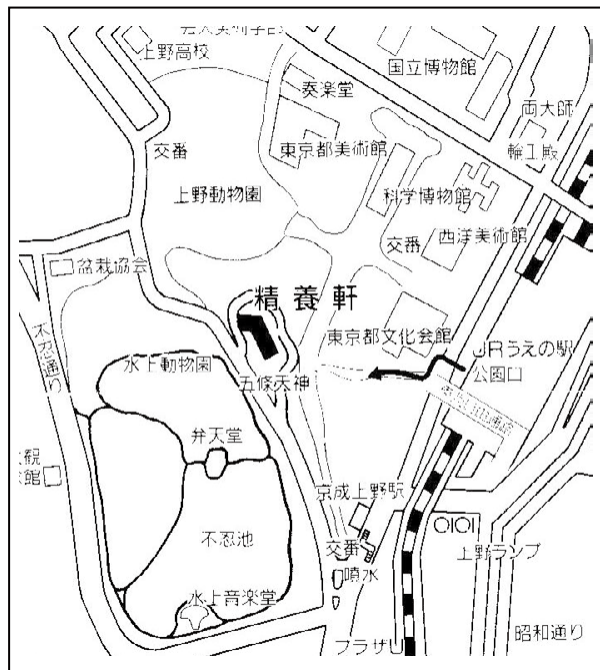
8. お願い 出欠のご返事は 9 月 10 日 (水) までに同封のハガキにてお願いします。

出席連絡後予定変更で欠席となる場合は、10 月 10 日 (金) までに連絡をお願いします。それ以降の欠席には会費のキャンセル料を頂くことになります。

また、出欠にかかわらず、お手数でも同封の振込用紙にて、年会費 2,000 円をお振込みくださるようお願い申し上げます。

9. お問い合わせ先

飯塚 英一 (昭 46 学電) TEL : 045-755-1588 FAX : 03-6862-8291



講演

東京スカイツリー余話 —鋼構造の最新技術—

講師 : 羽石 良一 氏 (昭 42 学精) 多賀工業会栃木支部会 幹事長
栃木県建築士会 副会長

講演概要 : 1 東京スカイツリーの構造材

先端技術に基づく構造用鋼材など

2 構造材としての「はがね」

「鋼」の基本的な性質と構造用鋼材の特徴など

3 鋼構造のかなめは「接合部」

鋼構造物の製作方法についての紹介

鋼構造における主要な接合方法としての「高力ボルト摩擦接合」と「溶接」の特徴など

4 放射線/超音波と品質

鋼構造の内部品質確認方法としての非破壊検査について、及びその代表的な方法である RT, UT などについての紹介

講師紹介 : ・建築鉄骨構造技術支援協会 常務理事

・一級建築士, 統括設計専攻建築士, 一級建築施工管理技士

・IIW (国際溶接学会) International Welding Engineer (IWE)

・溶接学会 FELLOW

・その他関係する委員職・有資格多数



趣味

- ・城址など旧跡をみる
こと/旅行
- ・日本酒
- ・バイクツーリング
- ・ゴルフ
- ・スキー
- ・居合 (戸山流、神道
無念流)
- ・山の花を見ること

第33回東京支部同窓の集い

田中栄太郎（昭40学化）

大泉 雅靖（昭40学精）

第33回東京支部「同窓の集い」は、平成25年10月20日(日)14時30分から予定の19時まで、上野精養軒で開催されました。

当会本部の舛井正義会長代行はじめ、他支部（千葉県、埼玉、水戸勝田、静岡、栃木、仙台、中部、日立総合）代表の方々をご来賓にお迎えし、出席者総数82名となりました。

以下に、本会内容概略を記載します。

第1部 総会（14時30分～15時30分）

大泉副幹事長の司会で、上月支部長挨拶後、ご来賓の方々各位は、ご挨拶とそれぞれの所属支部活動状況の紹介をされました。

議事

- (1) 支部活動・・・小林一幹事長
- (2) 会計報告・予算（注）・・・森田会計幹事
- (3) 会計監査報告・・・高木会計監査（注）会計報告書金額数値に会員から誤りが指摘された。会計幹事、監査幹事は誤りを確認し、修正版を報告することになりました。

第2部 講演会（15時40分～17時）

主題：「iPS細胞について

～現状と臨床応用への展望～

講師：高木重人氏（船員保険健康管理センター 診断検査部長）

2012年、山中伸弥博士がノーベル「医学・生理学賞」を受賞したことで注目されたiPS細胞（人工的に誘導された多能性を持つ幹細胞）について医師の立場からiPS細胞の基礎知識、臨床応用及び今後の課題等についてプロジェクターを用いて分かりやすい講義をして頂きました。

主題概要については6頁に掲載し、ここでは副題部分の概要を掲載します。

副題：「長生きの秘訣」

iPS細胞の恩恵にあずかるのは早くても10年後、それまで元気に長生きする秘訣を伝授いたします。この秘訣は、Japan Collaborative Cohort study（JACC study）という疫学調査に基づいています。1988-90年に全国45地区12万人（男性5万人女性7万人）に生活習慣についてのアンケート実施、その後10年以上にわたり追跡調査を行い、平均余命の延

長に寄与した健康なライフスタイルを選んだところ、下記の6つとなりました。

- ①喫煙者は禁煙するに限る
- ②飲酒は1合まで
- ③睡眠は7時間
- ④毎日1時間以上歩く
- ⑤緑黄色野菜を毎日食べる
- ⑥太り過ぎず痩せすぎず <BMI：18～25の範囲>とのことで①を実行すると3～8年、②～⑥を実行すると1項目につき1～2年長生き出来ることが期待できるそうです。

第3部 懇親会（17時10分～19時）

講演会場から、二階の宴会場に席を移動して開催されました。

鈴木日出男東京支部顧問の乾杯音頭で開始され、司会が会場を回り多くの参加者の紹介と各人からコメントを頂きました。

- ①女子会活動報告と各支部への協力要請（太田悦子（昭60学電）会長、鈴木葉子（昭62学化）副会長）
- ②校歌の伴奏をお願いしている橘 弘（昭38学電）氏のクラリネット演奏
- ③昭和50年卒以降参加者（11名）の紹介
- ④初参加の方紹介（佐藤将彦（昭43学子）氏、黒澤郁雄（昭45学精）氏）
- ⑤工専卒参加者の紹介（明石和夫（昭22専金）氏、海老原和（昭23専通）氏）
- ⑥テニス同好会発足のご提案（森永隆弘（昭36学機）氏）
- ⑦東京支部会報表紙の写真紹介と苦労話の披露（小林渡副支部長）
- ⑧同好会各部長、会長の紹介と行事への参加呼びかけ

ゴルフ部：青野潔（昭41学化）部長

囲碁部：田中栄太郎（昭40学化）部長

写真部：三好成實（昭39学機）部長

山遊会：小森廣樹（昭42学機）会長

卒業年度の近い人々ごとにテーブルを囲み、大いに飲み、語り合いの場を持つことが出来ました。

最後に、校歌、吼洋寮寮歌等を合唱して、兼子副支部長の中締めで閉会となりました。

総会会場の写真展（写真部主催）は、どれもすばらしく、レベルの高い印象を与えたと思われます。

ご案内

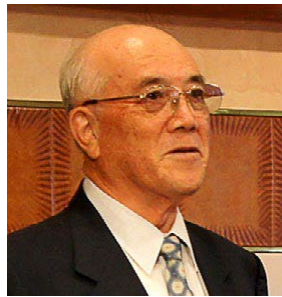
1頁（表表紙裏）：同窓の集いスナップ写真集

26頁（裏表紙裏）：写真展に出展された作品の中から7点を掲載しています。

支部長ごあいさつ

支部長 上月 秀俊 (昭36学機)

本日第33回東京支部“同窓の集い”開催にあたり本部舛井会長代行をはじめとして8支部の支部長・役員並びに東京支部会員82名の方々にご参集戴きました、大変お忙しいお休みの所遠路はるばるお出掛け戴きました大変嬉しく有難く思っております。



さて、この1年の動きとしては昨年末政権が変わり円安・株高と経済面で経済界は利益上昇、更に2020オリンピック東京開催が決まり明るいムードが出ておりますが、来年4月からの消費税UP後の見直しには気になる所です。一方、我々関連では一昨年の東日本大震災時皆様からお寄せ戴きました義援金がN4棟改修に当てられ「小平記念ホール」として旧小平記念図書館が甦りました。

学校では友田前工学部長の時「学部のあるべき使命」(ミッション)が提出され、後任の米倉工学部長に引継がれ、その計画(改革):再生計画を「見える化」する努力をされています。多賀工業会本部では臼井前会長が組織的運営の導入と会員交流

の活性化をかけた改革に向け大変な努力をされ、特にIT化の遅れを改善され「同窓生の窓」をホームページに開設されました。

支部に於いては本部・学校との連携へは関心を示すも前進せず、機会を捉え協議出来る体勢で、支部内は30年記念事業で女子会を立ち上げました。所在がなかなか明確でありませんでした。女子会太田会長の理解を得、東京支部内の女子会としてご活躍戴く事になり、支部幹事に太田さん・鈴木さんが就任されて、支部幹事会へ出席される様になりました。

どこの支部でも頭の痛い問題は世代の代替わりです。当支部でも数年前から工専・20年代の方が年々減少し30年代後半に変わりましたが、最近はその変化が酷く、幹事の方々が「同窓の集い」への動員に大変な努力をされており、そろそろ40年代の中・後半の方々に引継ぐ時期になって来ています。この度本部にて立ち上げた「同窓生の窓」を有効に利用して縦・横の連携し各種同好会新設・活動層の拡大に活用して行こうと思っております。

更にこの様な“同窓の集い”が皆様に親しまれ多くの方々にご参加戴ける様に努力を重ねて行こうと思っております。本日ご参集の皆様方には1人でも多くの友人を“同窓の集い”や同好会にご参加戴けます様お誘い戴き更なる支部活動活性化へ繋げるご協力をお願い致します。

最後になりましたが多賀工業会並びに各支部の益々のご発展と皆様方のご健勝・ご多幸を心より祈念申し上げます。

同窓の集い出席者名簿

<来賓> 10名 (敬称略)

舛井 正義 多賀工業会本部副会長 (昭37学電)
 森 俊和 埼玉支部 副支部長 (昭40学化)
 綿引 貞男 千葉県支部 支部長 (昭38学電)
 飯田 陽久 水戸勝田支部 幹事長 (昭38学電)

寒風澤 武 静岡支部 支部長 (昭41学機)
 植竹 一郎 栃木支部会 支部長 (昭41学電)
 金田 万庫 仙台支部 支部長 (昭38学機)
 根本 弘 中部支部 支部長 (昭38学金)
 森 俊郎 日立総合支部 副支部長 (昭36学機)
 高木 重人 講演会講師 (船員保険健康管理センター)

<会員> 72名 (敬称略)

明石 和夫 (昭22専金)	阿部 徳治 (昭37学化)	小池 利彦 (昭38学化)	黒澤 郁雄 (昭45学精)
海老原 和 (昭24専通)	小林 一 (昭38学機)	白石 道彦 (昭38学化)	伊藤 茂 (昭45学精)
玉川 信二 (昭28学電)	駒場 方耀 (昭38学機)	高木 二郎 (昭38学化)	飯塚 英一 (昭46学電)
鈴木 日出男 (昭30学原)	丹下 宏 (昭38学機)	矢部 功一 (昭38学化)	栗原 功幸 (昭46学子)
三本木 武 (昭30学金)	徳江 景英 (昭38学機)	矢嶋 國男 (昭38学精)	五十嵐 喜良 (昭47学子)
横山 亨夫 (昭31学機)	大竹 充 (昭38学電)	三好 成實 (昭39学機)	柳下 幸夫 (昭49学機)
瀬在 城雄 (昭31学原)	兼子 八郎 (昭38学電)	田中 栄太郎 (昭40学化)	加藤 邦治 (昭53学子)
山崎 慎一郎 (昭31学原)	後藤 紀夫 (昭38学電)	平山 隆司 (昭40学化)	小澤 喜宏 (昭53学子)
溝口 知昭 (昭32学機)	小林 渡 (昭38学電)	大泉 雅靖 (昭40学精)	西部 俊憲 (昭53学情)
矢野 睦男 (昭32学原)	佐々木 登喜夫 (昭38学電)	寺 紘一 (昭40学精)	丸島 國義 (昭55院電)
榊原 康夫 (昭32学原)	田川 政行 (昭38学電)	青野 潔 (昭41学化)	太田 悦子 (昭60学電)
上月 秀俊 (昭36学機)	橋本 政巳 (昭38学電)	小森 廣樹 (昭42学機)	鈴木 葉子 (昭62学化)
真下 知行 (昭36学機)	熊谷 文男 (昭38学電)	森田 徹郎 (昭42学電)	二川 克美 (昭63院情)
森永 隆宏 (昭36学機)	高萩 隆司 (昭38学電)	佐藤 将彦 (昭43学子)	秋山 英樹 (平04学情)
小宅 仁 (昭36学電)	橋 弘 (昭38学電)	角田 勇 (昭43学子)	東 學 (平08院生)
鈴江 芳雄 (昭36学金)	海老原 雄二 (昭38学金)	石川 久 (昭44学子)	乾 智彦 (平12院理學)
坪 弘 (昭37学機)	大塚 進 (昭38学化)	菊地 政行 (昭44学精)	
栗橋 貞夫 (昭37学機)	小田倉 勝夫 (昭38学化)	小滝 麟太郎 (昭45学電)	
		藤枝 伸一 (昭45学子)	

第 33 回同窓の集い講演会概要

iPS 細胞について

～現状と臨床応用への展望～

副支部長 小林 渡 (昭 38 学電)

講師：高木 重人先生

(船員保険健康管理センター診療検査部長)

平成 3 年横浜市立大学医学部卒後、呼吸器内科臨床医として大学病院や市中病院で勤務後、平成 14 年より現職。健診、人間ドックなど予防医学に従事、特に予防医学の最大の課題である禁煙支援に健診の場を通じて取組み中です。

専門資格等：内科学会総合内科専門医・呼吸器学会専門医・人間ドック健診指導医・日本禁煙学会認定専門指導者・日本医師会認定産業医等

講演概要

1. iPS 細胞についての基礎知識

iPS 細胞 = 人工多能性幹細胞 (induced pluripotent stem cell)

様々な組織や臓器の細胞に分化する能力と、ほぼ無限の増殖する能力をもつ万能細胞です。京都大学の山中教授は、人間の皮膚などの体細胞に、極少数の遺伝子を導入し、数週間培養するという、比較的容易な方法で作成することに成功しました。これによって、全身のあらゆる臓器についての細胞移植治療 (再生医療) や、原因不明の難病の病態解明、また新薬の開発が進むことが期待されています。

これまでも、このような多能性幹細胞に関する研究は盛んに行われ、胚性幹細胞 (ES 細胞: embryonic stem cell) などが樹立されてきました。ただ、ES 細胞については、将来子になるはずの受精卵を破壊して作成する必要があり、宗教的、倫理的問題から、研究の進展が遅れ気味でした。iPS 細胞は、ES 細胞と比較すると倫理的問題が少ない点が画期的です。

2. iPS 細胞の活用 (臨床応用)

(ア) 難病メカニズムの解明

難治性疾患の患者の体細胞から iPS 細胞を作り、それを神経、心筋、肝臓、膵臓などの患部の細胞に分化させます。その患部の細胞の状態や機能がどのように変化するかを研究することで、今までわからなかった病気の原因が解明できる可能性があります。すでに ALS (筋萎縮性側索硬化症) で、病態を細胞レベルで再現するモデルを構築して、病態の解明や治療薬開発が進んでいます。

(イ) 治療薬開発の加速

iPS 細胞の技術によって作り出した病気の細胞を利用すれば、人体ではできないような薬剤の有効性

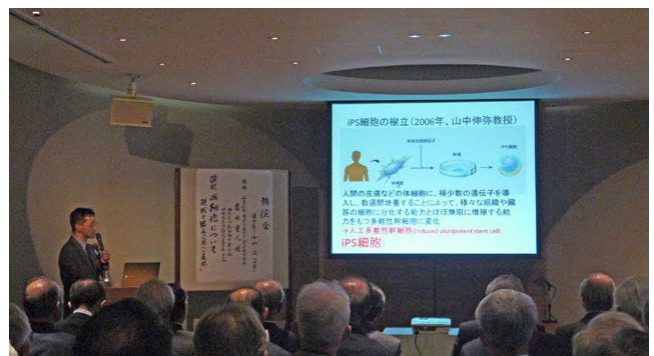
や副作用を評価する検査や毒性のテストが可能になり、新しい薬の開発が大いに進むと期待されます。

また、多くの患者から iPS 細胞を作って薬の効き具合に関するデータを蓄積し、遺伝子診断と組み合わせれば、患者一人ひとりに合った薬を選ぶ『テーラーメイド医療』が実現できる可能性があります。

(ウ) 再生医療への適応

患者由来の iPS 細胞から分化誘導した組織や臓器の細胞を移植する細胞移植治療 (再生医療) は、iPS 細胞の臨床応用でもっとも期待されている分野です。

加齢性黄斑変性症では、すでに世界に先駆けて日本で iPS 細胞による再生医療の臨床試験がスタートしました。このほか、心不全、脊髄損傷、パーキンソン病、白血病、筋ジストロフィー、糖尿病などでの研究が進行中です。さらに、発毛、皮膚のしわ取り、歯の再生といった、美容的分野での応用も研究が進んでいます。



3. iPS 細胞の今後

臨床試験が始まったとはいえ、一般的な医療として実施されるようになるには、①iPS 細胞ができるメカニズムの解明、②がん化の可能性の抑制、③倫理的問題、など様々な課題をクリアする必要があります。また、iPS 細胞の技術を特定の企業が特許登録するなどして、営利目的に利用されることが無いように、知的財産権を確保していくことや、一般社会への啓発 (情報提供) も重要です。

4. 長生きの秘訣

この項は 4 頁の講演会の副題を参照してください。

結び：

2012 年京都大学山中教授がノーベル医学生理学賞を受賞以来 iPS 細胞について関心が高まっています。この度 iPS 細胞はどのようにして作られるのか、iPS 細胞の何が画期的か、何が問題点とされているのか、どのような医療に役立つのか、解り易く話して頂きました。

会場では、先生の講義を皆熱心に拝聴していました。特に長生きの秘訣の話では、シーンとした雰囲気でした。質問ではクローン人間・不老不死は、倫理的・生物学的本質から無理であるとの事でした。

平成25年度多賀工業会東京支部会計報告

収入の部 平成25年4月1日～平成26年3月31日 (単位：円)

費目	25年度予算	実績	予算比	摘要
年会費	640,000	584,000	-56,000	189名292口(320名目標)
本部援助金	202,000	201,700	-300	毎年3%減
同窓の集い会費	1,000,000	790,000	-210,000	9支部+71名(内2名女子)(100名目標)
広告料	45,000	60,000	15,000	3件目標(1件来年度分納付済)
寄付・利息	-	30,166	30,166	
収入の部計	1,887,000	1,665,866	-221,134	
前年度繰越金	1,263,708	1,263,708	0	
合計	3,150,708	2,929,574	-221,134	

支出の部

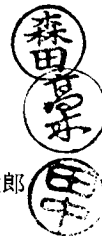
同窓の集い会費	900,000	708,145	-191,855	
総会場・懇親会費		621,000		
その他諸費用		87,145		
会報費	600,000	492,323	-107,677	
会報諸印刷費		348,660		1300部発行
会報配送費		97,540		
編集雑費		46,123		
会議費	100,000	129,592	29,592	定例幹事会4回
交通費	180,000	108,890	-71,110	10支部総会
本部・支部総会参加交通費		64,290		
一般交通費		44,600		
交流費	300,000	246,446	-53,554	
本部・支部総会参加会費		129,096		本部・10支部総会参加
同好会援助		100,000		5同好会
雑費		17,350		
振込み費	38,400	15,480	-22,920	
支出の部計	2,118,400	1,700,876	-417,524	
繰越金	1,032,308	1,228,698		三菱UFJ銀¥1,209,244 ゆうちょ銀¥9,984 現金¥9,470
合計	3,150,708	2,929,574		

以上の通り報告致します。

平成26年05月09日

会計幹事

森田 徹郎



監査の結果上記に相違ないことを認めます。

平成26年05月09日

監事

高木 二郎

平成26年05月09日

監事

田中 栄太郎



平成26年度多賀工業会東京支部会計予算

収入の部 平成26年4月1日～平成27年3月31日 (単位：円)

費目	26年度予算	前年度実績比	摘要
年会費	640,000	56,000	年会費(¥2,000x320名目標)
本部援助金	195,500	-6,200	毎年3%減
同窓の集い会費	1,000,000	210,000	100名目標
広告料	30,000	-30,000	3件目標(内1件昨年度納付済)
寄付・利息	-		
収入の部計	1,865,500	199,634	
前年度繰越金	1,228,698	-	
合計	3,094,198	164,624	

支出の部

同窓の集い会費	900,000	191,855	
会報費	600,000	107,677	A4版28頁; 1,300部 印刷
会議費	100,000	-29,592	
交通費	180,000	71,110	本部・10支部総会へ参加
交流費	300,000	53,554	10支部総会祝金・6同好会援助費
振り込み費	38,400	22,920	¥120x320名
支出の部計	2,118,400	417,524	
次年度への繰越金	975,798	-252,900	
合計	3,094,198	164,624	

随筆

ラグビーの思い出

成井 浩 (昭 30 学原)

82 歳になって、今はもう杖を 2 本つかなければ歩けなくなった。若い頃はよく動いたものだ！ラグビーがやれてよかった。色々なスポーツをやったが、ラグビーが最も自分に適していたように思う。ここからは、ラグビーを中心に我が人生を振り返ろう。



■戦前の少年時代（ラグビーとの出会い）

それは小学校低学年の時だった。我が町（旧満洲撫順市）の中学生の先輩達が中等学校ラグビーの全国大会で、2 年連続全国制覇して、市をあげて祝った。市では満鉄が炭鉱を経営しており、財政が豊かだったので、スポーツ施設は立派で、夏は水泳・冬はスケートとスポーツを楽しんだ。春・秋には、体育用具室に転がっているラグビー・ボールを持ち出して、ラグビーをして遊んだ。ルールは不完全だが「前パスなし」等と叫びながら結構楽しめた。中学入学後、学徒動員が激しくなり、北満の開拓地で農作業をするうちにソ連の参戦となり、這々の体で逃げ帰り、中学 2 年の夏に終戦を迎えた。

■中学・高校時代（腹が減っては戦はできぬ）

戦後は大変だった。1 年後の秋に、引揚船に日の丸の旗が揚がっているのを見た時には「まだ日本の国は有ったのか」と腹の底から喜びを感じたものだった。しかし引揚船の中での食糧事情はひどかった。食べる物が無くなると、食べる事以外には何も考える事ができなかった。佐世保に上陸して、父母の郷里（茨城県）に落ち着き、祖母が田畑を耕作していたので、自分が食べる分だけは農作業を手伝った。同級の友達もラグビーをしていたが、田舎の通学生であるせいか、あまり腹をへらしているように見えなかった。大学に通うようになり、水戸のグラウンドで走っている茨大 1 期生を見て、食い足りていないと感じた。

■茨城大学（工学部）のラグビー

大学 2 年生になり、多賀工場の桜川社宅に住む叔父の家から通学するようになった。その年の年末近くに供給所でアルバイトをし、そこで今給黎（イマキイレ）高俊氏（通称今さん：昭 28 学電）と知り合った。今さんはラグビーが好きだった。

また叔父もスポーツをするように勧めてくれ、そんな経緯からラグビー部に入部した。そして卒業も間近な 4 年生とも 2, 3 度練習をすることができた。寒い季節だったが、消火栓から出る冷たい水で汗を流したのを覚えている。3 年生になって、夏の合宿に参加した。筋肉が張って、苦労した。日本大学の 2 軍・多賀工場・日立工場・関東甲信越 6 大学等との試合に出場した。

■社会人になって

昭和 33 年に防衛大学（神奈川県）に勤めるようになり、学生と一緒に練習に参加したり、プールで泳いだ。また横須賀の市民大会に出て、難しいポイントからのゴールを決め、ゴールの得点差で優勝することができたりして、大いにスポーツを楽しんだ。体育教室のラグビー部監督に勧められ、セブクラブ（当時、県の代表として国体等に出場していた）のメンバーになり、岡山で行われた指導者講習会に参加させて頂いた。そこで茨城県の教職員チームの皆さんはじめ、撫順中学で中学日本一のチームを育てた鳥取先生にもお目にかかることができた。

■現役引退

そんな生活が数年あって、34 歳の頃、血圧が異常に高い状態が続き、検査入院した結果、本態性高血圧症という診断で、どうしたら血圧が下がるか悩み、食事を工夫したり、禅寺で座り方を教わったりした末、高蛋白の食事を勧めってくれる医師にめぐりあい、自信が付き、血圧も落ち着いた。

こうしてスポーツから遠のいた時期が 10 年位あったように思う。今さんから話があって、体を動かそうという気になり、永島 隆（昭 29 学機）氏を誘い、一緒に走るようになった。また横須賀のラグビー・スクールの指導者の仲間にもなった。

それからは今さんと永島さんと 3 人で走ったり、3 人で茨大ラグビー部 OB 会に出たり、今さんの音頭で故小白井和典（昭 28 学機）氏・故石川守竹（昭 24 専舶）氏等と会食をしたり、徳賛会（現：茨大ラグビー部 OB 会の前身、旧：多賀工専時代からの指導者である故徳江徳先生を囲む会）の会員と会って楽しむことができた。残念ながら現在では OB 会にも欠席するようになった。しかし今さんは、OB 会から贈られた紫色のパンツを穿き、ラグビー部創部 50 周年記念の親善試合や OB 会総会時現役員との懇親試合などに 83 歳まで出場した。「ラグビーをプレイしていると歳をとらない」とは徳江徳先生の口癖であった。

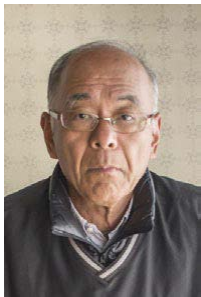
著者プロフィール

1955 年（昭和 30 年）4 月 通商産業省に入省
1958 年 防衛大学校に出向
1996 年 防衛大学校を定年退官

伝説と史実のすきまにて

ルーツを探る矢島教授の執念

石川 久 (昭44 学子)



私が住んでいる中野区は西に多摩の山々を眺め、尾根も川も西高東低で緩く傾斜する武蔵野の台地の中にあります。戦後急速に人口が増え、今では人口30万人のベッドタウンです。私が住む大和町は人口が16,000人、面積は0.7km²(東京ドームの15倍)で、鉄道もバスも通らない小さな町です。隣接する町には中野区の中野、野方、若宮、白鷺、杉並区の阿佐ヶ谷、高円寺があり、消費活動は鉄道が通る上記の町で行なっています。

江戸時代から大正時代まで、青梅街道沿いの中野村は突出した経済力を持ち、中野、杉並の村々の中心でした。大和町はというと江戸時代は中野村の北隣にあって、上沼袋村枝郷大場村と呼ばれる小農村(36~37軒、人口約150人)で、ずっと本村は上沼袋村でした。時代を遡ると、戦国時代には後北條氏の小田原衆所領役帳に「中野内大場」と名付けられ太田新六郎(太田道灌曾孫)の所領地だったようで、関東大震災後中央線や西武新宿線沿いに徐々に人口が増え始め、今の町となりました。他にも歴史上の痕跡が沢山見られます。①前九年の役・後三年の役で通過した八幡太郎義家が造営したという大和町八幡神社、②源頼朝が旗揚げをした時に豊島一族が国府のある府中経由で鎌倉に案内し、且つ、新田義貞の鎌倉進攻のとき通り抜けた鎌倉道、③伊藤・矢島一族が勧請した沼袋氷川神社を太田道灌が本陣とした古戦場、④道灌謀殺後に北條氏から安堵された太田新六郎の所領地、⑤村の一部を10万匹のお犬様屋敷にそして鷹狩御拳場に上地、⑥陸軍鉄道隊や陸軍中野学校の跡地、⑦彰義隊の敗残兵が徳川斉昭の掛け軸を村内の民家に残して逃げたのもこの地でした。おそらく我が町の人達の殆どは、そんな伝説や史実を知らないだろうと思います。

昭和18年発行の中野区史がありますが、内容は古記録をもとにした大きな中野村の出来事が中心であって、沼袋村(江戸時代は上沼袋村、下沼袋村、上沼袋村枝郷大場村:現在の太田町、下沼袋村枝郷新橋村)の歴史はほとんどできません。大和町の詳しい歴史を知る事を諦めかけていた、そんななか、二冊の本を見つけました。それは共に矢島英雄著の「実相院と沼袋、野方、豊玉の歴史」と「矢島寺と矢島氏」です。驚いた事に本のあとがきに水戸からの便りとか、作者紹介の欄に茨城大学教授とか書かれていました。沼袋には実相院(俗称:矢島寺)というお寺があります。その実相院の縁起には、『正平七年(1352)信濃宮(後醍醐天皇の皇子:宗良親王)

を奉じて武蔵野で足利軍と戦ったとき、新田六郎左衛門尉政義の三男である矢島三郎信氏の子孫にあたる矢島内匠・矢島図書等は戦いに破れ、結城氏一族とともに沼袋村に来て、この寺を建てた。』と書かれているようです。矢島先生は子供の頃から何回も聞かされていたのですが、自分の祖先が新田一族であることを寺のお施餓鬼会で改めて知り、「祖先は沼袋村のどこにたどり着いたのか」に興味を覚えたとのことです。そして、実相院檀家である矢島一族の家々に残る言い伝えを改めて調査整理したのでしょうか、矢島一族の間には「図書」を先祖とする言い伝えはあるが、「内匠」を先祖とする言い伝えはないことを掴みました。ところが、先生は実相院と同じ南北朝時代に創建された禅定院(俗称:伊藤寺)の過去帳に伊藤内匠という名前を見つけたのです。伊藤内匠は沼袋に落ちてきた矢島内匠と時代が一致することを発見し、同一人物であるとの仮説を立て、諸々の可能性をひとつひとつ調査されました。そしてついに、先住民としての伊藤一族がいた可能性を明らかにしました。(矢島先生のお母様は伊藤一族のご出身だったのです。)矢島先生は、沼袋氷川神社は矢島一族と伊藤一族が勧請したことを明らかにしています。実は、沼袋氷川神社の縁起を見ると『正平年間(1346-1370:南朝年号)、村民が素戔嗚尊の御武勇を慕って武蔵大宮より勧請した』となっていますから、矢島氏も伊藤氏も南朝方だったことが伺えます。一方では沼袋のあたりは豊島氏と江戸氏所領の境界であり、ともに足利方であるにもかかわらず微妙な争いがあったのではと私は想像しています。それから100年後に、江戸氏が衰退したあと太田道灌が江戸に城を築き、豊島氏と合戦し大勝利するのですが、太田氏の本陣がおかれた場所がこの沼袋氷川神社なのです。

柳田國男氏は「大多数の家々では、物覚えの良い者でも祖父母のそのまた親の名前までは知っていない。何か特別に好い事か悪い事か、とにかく変わった事でもしておいてくれぬと、その存在が胡乱(うろん)になり、二代や三代はすぐに取り違えて話をする。」と言っていたそうです。一族にとって重要な事でも四〜五代(120-150年)も経つと忘却の彼方に消えてしまいます。矢島先生は500年以上も前の一族の言い伝えを信じて、中野区にある一族の墓地をはじめ、群馬県太田市などにある墓地や古墳などの膨大な調査をした結果、史実を明らかにされたのです。大和町住人としてお話を伺うべく、上月東京支部長に消息を調べて頂いたのですが、時すでに遅く、矢島先生はお亡くなりになったとのことでした。多賀工業会の会員の中に先生をご存知の方もおられるかもしれませんが、おそらく理学部では名物教授だったのではという想像をしています。

著者プロフィール

昭和44年4月 日本無線株式会社入社
平成19年8月 日本無線株式会社退社

私とランニング

石原 健一（昭47学子）



■始めに

小さい頃から走るのが好きであったが、本当にランニングを意識し始めたのは社会人になってからで、仕事の合間に走ったり、週末は日本各地の大会に参加している。効用として、ストレス解消、健康増進とその維持、会社以外に

地元や各地でランニングを通じて沢山の仲間ができ、私の人生にとってなくてはならないものになった。

■高校時代

高校でフェンシングを始めた。その基礎体力作りとしてランニングを毎日のように行ない、おかげで体力がつき、フェンシングの大会でもある程度の成績を上げることができた。仲間はランニングが苦痛と嘆いていたが、私自身は特に苦にならなかった。

■大学時代

ワンダーフォーゲル部に所属して、基礎体力作りとしてランニングに励んだ。日本各地の山を重い荷物を担いで歩き回ったことは、持久力の向上に繋がった。

■社会人時代

社会人になるとデスクワークでどうしても運動不足やストレスが増し、その解決策として入社一年目から昼休みの短い時間でも何とか工夫をしてランニングを始めた。このランニングは定年退職を迎える60歳まで、会社周辺や出張先でも行なった。海外の仕事が多かったが、出張時には必ずシューズとウェアは持参し、出張先の町を走り回った。特に印象深いのはニューデリーで、街中を走っているうちに道がわからなくなり（イギリス風で交差点はロータリーになっており方向がわからなくなりやすい）、オートリキシャに乗って滞在していたホテルまで戻ったことがある。バングラデッシュやアルジェリアでは街中は治安が悪いので、ホテルの敷地を何周も走り回って従業員から不審な目で見られたこともある。

■ランニング仲間

一人で走っていたが、現在住んでいる千葉県印西市に移ったときに地元にあるランニングクラブに入った。会員は私と同じ世代である団塊の世代が多く、本格的にランニングに熱が入り始めた時期である。平日は会社の昼休みに走り、週末は仲間と長い距離を時間をかけて走りこんだ。最初の頃は10k程度だったが、どんどん距離が伸び、20k、30k走をこなすようになった。また、平地を走るだけではなく山

の中を走り回るトレイルランや、トライアスロンにも挑戦するようになった。

■大会参加

40歳になった頃、日本各地でいろいろなランニング大会が開催されていることがわかり、つくばの10kのレースに参加したのが初めての大会参加で、その後多いときには20回以上も大会に参加した年もあり、今までに400回近く大会に参加してきた。その中でフルマラソンは100回程度。最近ではウルトラマラソン（フル以上の距離を走るのをウルトラマラソンと言う）の参加が多くなっており、50回以上参加している。また富士登山競走という有名な大会（780mの富士吉田市役所から頂上までひたすら3000mを走って登る大会で制限時間が4時間半という過酷な大会）にも10回以上参加した。そしてさらに、最近盛んになっているトレイルランの大会にも参加した。もう一つ大きな夢だったのが、60歳でのトライアスロン大会への参加&完走であった。スイムが全くできなかったので近くのスイミングクラブに入会し、何とか泳げるようになり、59歳で手賀沼トライアスロンを完走した。よくよく今までの歩みを省みると、内容が段々とエスカレートしてきている。人間と言うものは目標があると知らず知らず更に上を目指すという習性があるようだ。自慢は今まで参加した大会で一回も途中棄権がないことだ。（富士登山競走は制限時間が厳しくタイムアウトになったのを除く）。健康管理と怪我の予防を心がけ継続して練習したお陰かなと思っている。

■退職後

60歳で退職後、いままで培った体力と語学を生かす仕事として人力車の車夫をやっている。採用の年齢制限は28歳だったが、話題性があり結構行けるのではないかとということで採用され浅草でがんばっている。その後60歳以上の方で車夫をやろうという人が出てこないのが、今のところ浅草最高齢者の車夫というのが売りである。

■今後のランニング人生

ランニングと出会って多くの友人と巡り会い、健康な体と精神の維持になり、前向きな姿勢と更なる目標が持てたと確信している。健康である限り、また健康を維持するためにも、まだまだ沢山の出会いを求めてランニングを継続していくつもりだ。夢は100歳になってもランニングをやっている自分がいることである。

著者プロフィール

昭和47年 日本電気（株）入社 海外中心の業務

平成21年 日本電気（株）退社

平成21年 浅草の人力車会社「時代屋」入社活躍中

50 歳という歳と 両親の存在

二川 克美 (昭 63 院情)

50 歳と言えば、孫が居ても違和感はなく、一般的に会社勤めの方は退職という言葉が身近に感じる時期だと思っていました。私の実家は農家だったこともあり、両親の「年齢に関係なく働ける間は働くという姿」を見ていましたので、退職という文字が実感としてありませんでした。その私本人がもうすぐ 53 歳。結婚が 46 才と遅かったこともあり、一般的な方が人生で経験することの大半をこの 7 年間に経験したのかなと感じています。

- ・妻が第一子を妊娠し、両親ともども喜ぶ
- ・母が交通事故に巻き込まれ呼吸停止状態。救急救命士に蘇生させてもらう
- ・母が集中治療室に 1 ヶ月も入り、人口呼吸器を止めてもらうかどうかで家族が悲しみ悩む
- ・これから生まれる子供とともに新しい生活を送るために、マンションを購入し新しい生活に夢を膨らませる
- ・東日本大震災で実家の農地が液状化し、家屋が被害にあい、実家をどう立て直すかを悩む
- ・東日本大震災の 1 ヶ月後長男が誕生し、家族に笑顔が戻る
- ・長男の育児に奮闘するなか長女が生まれ、鳴き声 2 倍、おむつの量も 2 倍になりてんでこ舞い



また、この 5 年間は嬉し涙、悲しみの涙を一番流した期間でもありました。特に母の交通事故では、命を断つか、命を明日につなげるかの判断に家族全員で悲しみ悩みま

した。母は当時 80 歳ということもあり、父と妹は命だけがなんかつながっているだけの母の厳しい人生を考え人口呼吸器を止めてあげたいと言い、兄と私は、母の存在は非常に大きく、生きていだけでもいい、生きていれば楽しいこともある、笑顔が戻ると (勝手に) 思い、命をつなげたいと

2 つの意見が衝突しました。最後は跡継ぎである兄の「介護は全部俺が面倒をみる」という強い意思が尊重され、命をつなげることになりました。

集中治療室にいるときは、命はもっても 3 ヶ月ということでしたが、手術を何度も繰り返し、今では介護があれば歩ける状態まで奇跡の回復をとげ、当時の関係者を驚かせています。80 歳でも頑張っている母の姿を見ると、50 歳の私が頑張れないはずはありません。やはり、親の存在は大きいものです。

母がなんとか介護の支援を受けながら平常的な日々が遅れるようになった今の私の悩みは、2 人の育児に忙殺され、どのようにして仕事と家庭を両立できるか、です。育児や待機児童などの問題は当事者になって初めて感じる大きな問題ですが、日本の生産年齢人口を増やすためには重要課題であることを肌で感じます。子供をもって初めて、子供の今後の 20 年、30 年後の日本の責任は親である我々の責任だと思えるようになってきました。それまでは、「親は親の人生を生き、子供は子供で頑張ればいい」という考えでしたが心境の変化が出てきました。50 歳が人生の折り返しだとすると、「子供たちが豊かな人生を生き抜くために親として何をしてあげられるか」と思うようになり、仕事では事業拡大に向けて大きなターニングポイントを迎えていますが、リタイヤしたらのんびりと人生を過ごす、という人生は私に無いようです。

働ける間は働く、という両親の姿を見て育った私は、職種は全く違っても、やはり両親の後ろ姿を追って人生を歩いているようです。その意味で両親の存在は私の人生に大きな影響を与えています。私の人生も子供に大きく影響すると思うと半端な人生を過ごすことはできないと身が引き締まる思いになります。私は子供たちに何も残してあげることにはできないかもしれませんが、子供たちの人生を生き抜く際に、私の生きる姿が模範になれば親としての役割を少しは果たせたかなと思えるのではないかと考えています。2 番目の娘が大学を卒業するまで後 21 年。そして結婚まで 30 年かかるでしょうか？新たな人生の目標ができました。

著者プロフィール

昭和 63 年 4 月 株式会社 NTT 入社
同年 7 月 NTT データに分社

主に CRM 実現に必要な技術開発に従事
平成 22 年 宅地建物取引主任者資格取得
現在は、NTT データにて不動産ポータル
サイト「HOME4U」事業を担当
<<http://www.home4u.jp>>

中国滞在奮闘記

～定要去看看啊～

重 彰記 (平成 10 学情)

■はじめに

昔ながらの Japanese Domestic な企業に入ったつもりだったが、2回の海外赴任を経験してきた。最初の赴任はアメリカ、2回目の赴任は中国である。両国共に2大経済大国であるが、アメリカは皆さんの想像通りの



国であまり驚きはないと思うので、今回は中国についてご紹介したいと思う。赴任中、本当に色々なことがあり、思い出深い3年半であった。

■赴任1年目

中国に赴任した最初の年は、とにかく必死だった。赴任した会社は、日本人第1号として赴任した。そのため、会社に慣れ、自分の立ち位置を作ることに必死だったし、そもそも中国の生活に慣れることにも必死であった。あっという間に1週間が過ぎ、1か月が過ぎという状況だった。そんな中、2011年3月11日(金)に東日本大震災が起こった。日本側とテレビ会議を行っている時に地震が起き、その時点では詳細は分からなかった。時間が経つにつれ、その甚大さが分かり、日本国内のパニック具合を理解していった。

震災時に、自分の会社から33人の中国人社員が日本に出張に出ていたが、非常に心細く不安を抱いた状態で日本に滞在していた。余震も大きく、その度に「実家に電話が繋がらない。私の最後の言葉を両親に伝えて欲しい」と自分の遺言を会社に電話をしてくる者が何人かいた。この状態で日本に滞在させることは得策ではないと考え、社員全員中国へ帰国させることを決めた。航空券は簡単に取りれないため、東京便だけでなく関西便も視野に入れ、最後は沖縄経由の便も使い帰国させた。赴任1年目は、この震災の対応をしている間に過ぎてしまった。

■赴任2年目以降

常に何かが起こり、本当に飽きることのない国だと思う。歴史的な円高とその後の円安、対日デモ、中国経済の失速、PM2.5、食の安全への脅威、川に豚が大量に流れたというニュースもあった。本当にネタは尽きない。ここで対日デモについて紹介する。2012年9月中旬、尖閣諸島の国有化が起因と言われているが、中国にて対日デモが各所で行われ、私が滞在する町でも当然行われた。私

はデモが行われた事実よりも、デモが騒がれていた期間の中国の方々の配慮をお伝えしたい。

日本人には嫌がらせをされるという報道もあったと思うし、実際にそういった事件は何件もあったのだろう。ただし、日本人を気遣う対応してくれた中国の方々はたくさんいた。公安もわざわざ会社に来て、日本人従業員の安全確保について会議をし、デモが通るルートも公安が調整に入り日本企業がない道に誘導していた。日本食レストランも特別に個室を用意してくれたり、大丈夫か?とメールを送ってくれる方々もたくさんいた。

日本での報道だけでなく、配慮してくれる中国の方々もたくさんいて、日本人が守られていた事実も知っておいて欲しい。

■中国での生活(慣れれば大したことはない)

中国にいてあまり生活に関して不便に感じることは少なかったが、私が中国に慣れてしまっただけなのかもしれない。例えば、以下のような。

- 車の横転を年に3回は見るので驚かない
- 交通事故は年に15回は遭遇する
- 目の前で人が車にぶつかるのは年に1回(さすがに驚くが、まただと思ってしまう)
- 中国国内出張で飛行機に乗る場合、1時間の遅延で「普通だね」と言える感覚になった
- アルコール度数40度ぐらいだと、今日の食事は優しい方だと思ってしまう

このように、「まあ中国だしそんなこともあるよ」と言える価値基準が生成された。

■さいごに

景気の減速が囁かれているが、急激な経済成長をしているのは事実である。私がいた町もビルや道が急激に増えており、SimCityという町を作るゲームを、リアルな世界で実施しているという印象を受けた。変化の激しい国なのは間違いない。色々なマイナス面が見えてくる中国だが、日本と同じ漢字文化圏で言葉が分かりやすいこと、中華料理は地域ごとにバラエティに富んでおり非常に満足できる。観光地は整備されていて見どころも多い。優しい人たちもたくさんいる。など、プラスのこともたくさんある。定要去看看啊(是非足を運んでみて)、自ら体感し、人から聞くのではなく自らの意見で中国を評価して欲しい。

最後に、私は中国が大好きです。

著者プロフィール

1998年 (株)NTT データ入社
2007年 アメリカ(サンフランシスコ)赴任
2009年 M&A、事業会社設立に従事
2010年 中国(無錫)赴任
2013年 日本に帰国し、公共・金融機関向けシステム開発に従事
(妻と子供2人に囲まれ公私ともに奮闘中)

女子会観桜会

鈴木 葉子 (昭 62 学化)

平成 26 年 4 月 6 日 (日) に、多賀工業会館にて観桜会を開きました。当日の天気や桜の開花状況が心配でしたが、薄日がさし工学部キャンパスの桜を楽しむことができました。



出席者は米倉工学部長、学生 1 名、女子会メンバー 5 名でした。当初は学生がもう少し多い予定でしたが、就活で忙しい時期であったこと、私たちの PR 不足などでこの結果となりました。

まず、渋谷の「桜フレーバーの飲むお酢」で乾杯。お花見弁当や各自の地元からの持ち寄り銘菓を食べながら歓談しました。**工学部には現在 200 人も女子学生がいる**とのことでした。

学生の山崎真吾さんからはケーブルテレビ用に日立市内の会社社長にインタビューする番組を製作していることなどを伺いました。また、工学部を紹介する目的で女子学生の広報委員会が組織され、彼女たちがリポーター役を務める「Go! Go! 工学ガール!」という番組では地域の問題を住民の皆さんと解決しているそうです。この経験は就活や卒業後の仕事に役立つと感じました。私たち女子会と学生との交流も、すぐに効果の見えることではありませんが何かのきっかけになれば良いと、学生が馴染みやすい Facebook を立ち上げることが提案されました。末筆になりますが、ご協力頂いた多賀工業会・舛井様に感謝申し上げます。



参加の皆さんに

Q1 「一番幸せを感じるのとはどんなとき？」

Q2 「大学生活で印象に残った出来事」をお聞きしたものを右段にまとめました。

米倉工学部長

- ・学生達が行きたい企業に就職できたとき。
- ・学生やその父兄に「良い大学」と評価して頂いたとき。
- ・OB、OG との語らいのひとつとき

福田光子

(昭 62 学情)
自分の開発したシステムが使われて、役に立っているところをみるとき。



太田悦子 (昭 60 学電)

- ・眠りにつく時。
- ・サークルのアルバイトでピアガーデンの生バンド演奏をしていたこと。

山崎 真吾

情報工学科
(修士課程 2 年)

- ・古い友人達と徐々に会い現状や将来について話るとき。
- ・初対面の方々に名前を知られていたとき。
- ・家族や恋人と過ごすとき。
- ・米倉研究室と出会ったこと。

高野たい子

(昭 53 学情)

- ・家族でニコニコおうちゴハンする時。
- ・大学では広い女子トイレ、いつもひとり占めだった。



鈴木葉子

(昭 62 学化)

美味しいスイーツを食べるとき

横田登志美

(昭 59 学情)

皆さまと楽しくお話したりお話を聞いたりすること。

中国四国支部の紹介

支部長 長沼 静 (昭 38 学金)

東京支部の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃、会報のご送付等大変お世話になり、心より御礼申し上げます。有難う御座いました。中国四国支部は 11 番目の支部として、昭和 63 年に関西支部の村上元支部長や水戸支部の山本元支部長様のご協力のもと中国支部として発足致しました。支部のメンバーの母体は、三菱広島造船と日新製鋼呉の同窓生でした。その後四国 4 県を取り込み、中国 5 県と併せて現在の支部と成りました。



平成 2 年のバブル崩壊後は支部会員の転出も多く、新入社員の採用もなく、減少の一途を辿りました。現在は広島県 26 名、岡山県 22 名、山口県 6 名、島根県 7 名、鳥取県 6 名、香川県 9 名、愛媛県 10 名、徳島県 5 名、高知県 5 名合計 96 名が登録会員です。最新の同窓会名簿によれば、中国地方で 302 名、四国地方で 149 名合計 451 名が在席しているとのデータがありますので、勧誘に努力してゆきたいと考えております。

平成 2 年のバブル崩壊後は支部会員の転出も多く、新入社員の採用もなく、減少の一途を辿りました。現在は広島県 26 名、岡山県 22 名、山口県 6 名、島根県 7 名、鳥取県 6 名、香川県 9 名、愛媛県 10 名、徳島県 5 名、高知県 5 名合計 96 名が登録会員です。最新の同窓会名簿によれば、中国地方で 302 名、四国地方で 149 名合計 451 名が在席しているとのデータがありますので、勧誘に努力してゆきたいと考えております。

主な支部活動は、毎年会報の発行と支部総会の開催と名簿の整備です。総会は会員が参加しやすいように、宮島の紅葉が綺麗な 11 月の中旬に一泊で行なうことが多



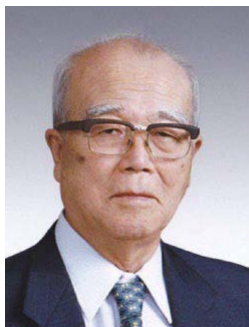
かったのですが、四国では 2 回、岡山で 1 回おこないましたが、参加者数は増やすことは出来ず、現在は最も交通の便利な広島で日帰りで行なっております。総会の参加者は毎回 10 名程度と少ないのが悩みの種ですが、昨年迄で 26 回続いております。広島の弱小球団カープを見習って、昨年の A クラスが 16 年振り達成出来たように、今年は優勝を掲げてスタートしたら、5 月 24 日現在では首位を守っている様に、支部活動を続けたいと考えております。

今後とも宜しくご指導の程お願い申し上げます。

追悼

近江顧問のご逝去を悼む

前支部長 三本木 武 (昭 30 学金)



故 近江義勝氏

平成 26 年 4 月 2 日、多賀工業会功労会員で東京支部三代目支部長の近江義勝 (昭 28 学電) 氏が 85 歳で逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

故人の死亡は、二八会の中原 太平 (昭 28 学電) 氏からの電話で知り、既に家族葬が済んだとの事でした。

故人は昭和 28 年卒業と同時に三菱電機に入社し、同社でやってきた仕事を独立してやってみたく昭和 53 年に退社して、同社のバックアップと経験が生かせる空調・換気・給水設備の設計施工と保守管理を行う会社「千代田工業 (株)」を神田佐久間町に設立しました。幸い建築業界が高層ビルや住宅の新築ラッシュ時期で、仕事は順調に進んでいました。

特に東條会館と新築予定の東条インペリアルパレスの空調設備がどうなるかが注目されておりました。

故人は東京支部発足 (昭和 56 年) 当初から支部の事務を担当していました。平成 10 年渡辺益男 (昭 19 専精)

氏が二代目支部長となった折、故人が幹事長、会報編集長に鈴木日出男 (昭 30 学原) 氏、会計幹事に溝口知昭 (昭 32 学機) 氏の人事を決め、支部活動の強化に入りました。平成 12 年に囲碁とゴルフ、同 15 年に写真と山遊会の同好会がスタートし、会員の増加が計られました。

平成 16 年には近江氏が三代目支部長に推挙され、就任と共に支部会則の改訂と組織の強化をはかり、支部活動としての近隣の 4 支部 (千葉県、埼玉、水戸勝田、栃木) との合同懇親ゴルフや千葉県、埼玉の両支部からの応援を得ての水高 (旧制水戸高校) O B 会との囲碁大会などにも注力し、会員増強に努力されました。

一方故人としては、平成 12 年 12 月の検診で冠状動脈のバイパス手術を受けましたが、術後の回復は非常に好調でした。しかし持病の糖尿病で今後の健康に心配があり、同 13 年には会社を閉鎖し、健康な内に長年苦勞を掛けて来た奥様に孝行したいと考え、同 14 年から 3 ヶ年計画で待望の欧米、カナダ、ロシア、トルコ、エジプト、ブラジル等へ海外旅行をして勞を犒 (ねぎら) しました。奥様は大変喜んでおられました。

支部発足から 33 年の長きに亘り、全ての役職を経験して会員の指導に誠意を持って取り組み、支部の基礎を築いて下さいました。その功績に対し心から感謝とお礼を申し上げます。長い間、本当にお疲れさまでした。

どうぞ安らかにご永眠ください。 合掌

囲碁同好会

会長 田中 栄太郎 (昭 40 学化)

現在、会員の登録者は、この同好会設立者の山下七段から学子 46 の若手までの方々36名で、棋力は七段から9級までいろいろです。大会は、年に4回で、2月、5月、11月の第2土曜日と8月の第1土曜日に東京駅近くの碁会所「いずみ囲碁ジャパン」で行います。

試合は、午前10時半から夕方まで、参加者各人が5回対局する方式で熱戦を繰り広げます。



初回の棋力は申告制で、ハンディ制を採用していて、段級位にかかわらず、勝つチャンスがあるような運営システムでやっています。成績次第で、段級位が昇降します。囲碁に関心のある方は、ご参加下さい。

会費は2,000円(入場料、運営費を含む)で1位から6位まで(参加者数による変更有り)の方と実力を発揮できなかった方1名に奨励賞が授与されます(準スイス方式を採用)。

対局終了後、会場近くで、希望者による簡単な懇親会を行っています。

(文中、敬称と卒年の「昭」と「学」を省略)

第58回多賀工業会囲碁大会参加者(写真)

後列左から：寺内道義六段(昇段)、山田五段、兼子二段、桜井二段、富田初段
前列左から：藤沼五段(43機)、佐々木四段、山下七段、田中四段、山崎3級、白石初段
(於 いずみ囲碁ジャパン)

連絡窓口：会長 田中 栄太郎

TEL/FAX 0466-82-4988

大会入賞者(支部会報第16号記載以降) ☆58大会終了後、規定により寺内(道)五段は六段に昇段しました。

大会	開催日	優勝	準優勝	三位	四位	五位	六位	奨励賞	参加者
55	2013 08-03	田中四段 (40化)	山田五段 (42電)	桜井二段 (38機)	田口五段 (32電)	山崎3級 (31原)	—	真下七段 (36機)	11名
56	2013 11-09	高田三段 (28機)	寺内(道)五段 (44化)	寺内(賢)四段 (38電)	森 六段 (40化)	桜井二段	田中四段	兼子二段 (38電)	16名
57	2014 02-08	白石初段 (38化)	兼子二段	阿部二段 (44子)	寺内(道)五段	田中四段	山下七段 (32電)	富田初段 (41機)	12名
58	2014 05-10	寺内(道)五段	白石初段	山田五段	佐々木四段 (38電)	—	—	山崎3級	11名

旧制水戸高校との親善囲碁大会

高田 丈夫 (昭 28 学機)

第11回：平成25年8月17日(土)

会場：細川ビル(港区溜池山王駅近く)

参加者：水高側7名、多賀工業会の側8名

・対抗戦成績(ハンディ無し、黒番コミ6子、ジゴ白勝)

多賀工業会の3勝4敗

・総合成績(ハンディ有り)

多賀工業会の18勝12敗

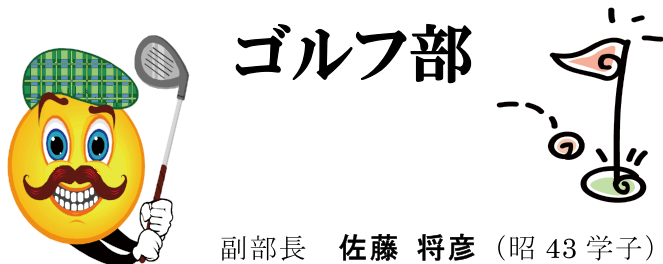
多賀工業会参加者

東京支部(6名)：高田丈夫、山下正明、田口嘉男、田中栄太郎、粕谷利夫(42電)、藤沼隆夫
千葉県支部(2名)：高橋孝雄(34電)、佐藤隆義(40化)

なお、千葉県支部、埼玉支部からの応援参加を得ていた本大会は、今回をもって最終回となりました。

第1回(平成19年3月31日)からの通算成績は多賀工業会の319勝208敗7引き分けで、参加者延数水高111名、多賀工業会140名となりました。

これまでにご協力頂きました会員の皆様に、厚くお礼申し上げます。



ゴルフ部

副部長 佐藤 将彦 (昭 43 学子)

部活動として、「多賀いちょう会」と銘打って、春秋のコンペ開催と初夏の近隣五支部による対抗戦（各支部持ち回り）への参加を行っております。会員数は 32 名です（平成 26 年 5 月現在）。昨年度とこれまでの今年度の活動内容は次のとおりです（氏名は、敬称略及び卒年の「昭」省略）。

1. 第 24 回春季コンペ (H25. 4. 17)

参加者 10 名、紫 CC あやめ東コースで開催。

2. 五支部対抗懇親コンペ (H25. 5. 22)

千葉支部が幹事を担当し、参加者 22 名、成田フェアフィールド GC で開催。

東京支部（第 24 回コンペのグロス上位 4 名参加）が見事、団体優勝。

以上の詳細は会報 16 号にて既報しております。

3. 第 25 回秋季コンペ

開催日：平成 25 年 11 月 20 日（水）

場所：武蔵野ゴルフクラブ（初の開催）

参加者：12 名（以下、順不同）

小林一（38 学機）、駒場方耀（38 学機）、兼子八郎（38 学電）、大久忠雄（38 学電）、根本勤（38 学電）、磯部亮（38 学精）、北島正保（39 学機）、森俊和（40 学化）、平山隆司（40 学化）、青野潔（41 学化）、角田勇（43 学子）、佐藤将彦（43 学子）

優勝：大久、2 位：森、3 位：平山（競技方法は、新ペリア方式）



第 25 回多賀いちょう会ゴルフコンペ
（於 武蔵野 GC）

なお、大久氏がなんとホールインワンを達成されました。部から気持ちばかりのお祝いを贈りました。

4. 第 26 回春季コンペ

開催日：平成 26 年 4 月 14 日（月）

場所：GMG 八王子ゴルフ場（初の開催）

参加者：10 名（以下、順不同）

上月秀俊（36 学機）、小林一、駒場方耀、兼子八郎、磯部亮、北島正保、富田瑞穂（初参加 41 学機）、青野潔、角田勇、佐藤将彦
優勝：青野、2 位：小林、3 位：佐藤（競技方法は、新ペリア方式）

5. 五支部対抗懇親コンペ（水戸勝田支部担当）

開催日：平成 26 年 6 月 10 日（火）

場所：霞ヶ浦国際ゴルフコース

参加者：20 名

東京支部からは、第 26 回コンペのグロス上位 4 名の駒場方耀、磯部亮、富田瑞穂、青野潔の各氏が参加するも、奮闘空しく団体 5 位に終わりました。来年は、埼玉支部担当で行われる予定です。

情報発信面では、コンペの開催案内・結果などその都度、支部 HP に掲載しておりますので、皆様、ご覧になっていただき、是非、参加下さい。会員、一般を問わず、皆様の多くの参加を期待しております。

近年の参加者は、会員の高齢化及び、固定化傾向などによる減少が顕著であります。この歯止め対策として皆様のパイプ、ネットワークを通じて、特に若手及び、女性の会員・参加者勧誘につき、ご支援・協力をお願いいたします。

連絡窓口：

部長：青野 潔 TEL 044-954-2573

副部長：佐藤 将彦 TEL 050-7524-0949



第 26 回多賀いちょう会ゴルフコンペ
（於 GMG 八王子ゴルフ場）

山遊会

会長 小森 廣樹 (昭 42 学機)

平成 25 年 6 月から平成 26 年 2 月までの間 6 回の行事を行いました。なお、山行計画ごとに「多賀工業会東京支部」のホームページに掲載して参加者を募集しています。会員でない方の参加も歓迎します。(文中敬称及び卒年の「昭」省略)

1. 第 42 回 経ヶ岳 (633m) 登山

実施日：2013 年 6 月 17 日 (月) 日帰り

企画者：故田崎耕八 (32 学電)

参加者：5 名

行程：本厚木—坂尻—リッチランド—半原越—経ヶ岳—半原越—リッチランド—坂尻—本厚木

参加者：矢野睦男(32 学原)、兼子八郎(38 学電)、小林渡(38 学電)、青野潔(41 学化)、小森廣樹

2. 第 43 回 蓼科山 (2530m) 登山、霧ヶ峰散策

実施日：2013 年 7 月 27 日 (土)、28 日 (日)

企画者：故田崎耕八

参加者：4 名

行程：(1 日目) JR 八王子駅—中央高速諏訪インター—車山肩—ニッコウキスゲ群落見ながら霧ヶ峰・散策車山山頂(1,925m)—車山肩—八島湿原散策—ホテル

(2 日目) ホテル—蓼科山大河原峠—蓼科山荘—蓼科山山頂(2,530m)—大河原峠—日帰り温泉—諏訪インター—入間インター—拝島駅

参加者：小宅仁(36 学電)、林昭彦(特別会員)、佐竹ふみ子(特別会員)、小林渡



〈蓼科山山頂での集合写真〉

左から 小林、林、小宅、佐竹

3. 第 44 回 霊峰・大山 (1217m) 登山

実施日：2013 年 9 月 23 日 (祝、日) 日帰り

企画者：矢野睦男 (32 学原)

参加者：5 名

行程：秦野—ヤビツ峠—阿夫利神社下社—上社(頂上)—見晴らし台—下社—ケーブルバス停—伊勢原駅—鶴巻温泉の湯

参加者：矢野睦男、兼子八郎、白石道彦 (38 学化)、青野潔、小森廣樹

4. 第 45 回 秩父の名峰・武甲山 (1304m) 登山

実施日：2013 年 11 月 5 日 (火) 日帰り

企画者：白石道彦

参加者：6 名

参加者：矢野睦男、兼子八郎、白石道彦、青野潔、林昭彦、小森廣樹

行程：西武横瀬駅—一ノ鳥居(表参道 1 丁目)大杉の広場(32 丁目)御嶽神社(山頂、52 丁目)—長者屋敷ノ頭—橋立側登山口—橋立寺—浦山口駅



〈武甲山山頂上での集合写真〉前列左より青野、兼子、後列左より林、矢野、白石、小森

5. 第 46 回 天園ハイキング

実施日：2013 年 12 月 4 日 (水) 日帰り

企画者：兼子八郎

参加者：6 名

行程：京急金沢文庫駅—天園—瑞泉寺—鎌倉駅
参加者：山崎慎一郎 (31 学原)、矢野睦男、兼子八郎、白石道彦、青野潔、小森廣樹

6. 第 47 回 湯河原梅林鑑賞と幕山、南郷山ハイイク

実施日：2014 年 2 月 28 日 (水) 日帰り

企画者：小森廣樹

参加者：5 名

行程：JR 湯河原駅—湯河原梅林—幕山—林道—(南郷山頂上は雪のため断念)—五郎神社—湯河原駅—(青野氏お妹さん別荘)

参加者：矢野睦男、兼子八郎、白石道彦、青野潔、小森廣樹

連絡窓口：

会長：小森 廣樹 TEL 045-573-3625

副会長：青野 潔 TEL 044-954-2573

「こうがく祭」写真展示

三好 成實 (昭 39 学機)

平成 26 年 6 月 1 日 (日) 茨城大学工学部日立キャンパスで「こうがく祭」が催され学内は多くの観客で賑わったが、この「こうがく祭」で例年どおり多賀工業会館を会場として写真展示を行った。作品としては東京、埼玉の各支部 12 名の作品 24 点が展示された。

昨年からは「こうがく祭」のプログラムに正式にエントリーされ、今年も多数の来客が期待されたが約 50 名ほどの観客にとどまった。この展示については作品のフォーマット・展示方法・展示場所など改善の余地があり今後検討していく。



左から上月支部長・白石道彦 (昭 38 学化)
・舛井正義 (昭 37 学機) 副会長・現役女子学生・高橋伸二 (昭 40 学機)



テニス部活動スタート

部長 森永 隆宏 (昭 36 学機)

テニス部は昨年の 11 月に東京支部同好会として登録された。今年度は実際に活動をスタートさせる年と位置付け、森永部長の声掛けで 3 月 23 日に新宿に集まり発足式を行なった。メンバーは鈴江芳雄 (昭 36 学金)、森永隆宏、河上弘一 (昭 38 学機)、徳江景英 (昭 38 学機)、矢嶋國男 (昭 38 学精)、村上宗久 (昭 48 学機)、金子芳久 (昭 48 学機) の 7 名。その場で森永部長の他、河上副部長・徳江幹事 (会計) の 3 役と、6 月の初めに合宿を行うことを決めた。合宿については千葉県在住である矢嶋氏の段取りで 6 月 7~8 日に東金市のエストーレホテルアンドテニスクラブにて森永・河上・矢嶋・村上・金子の 5 名が参加し、一泊二日の有意義な時間を過ごすことができた。当初参加予定の他の 2 名は急な用事ができ、泣く泣く不参加となった。

これからは茨大工学部テニス部OBのみならず、現在テニスを楽しんでいる方々にも声掛けして部員を増やし、同窓の輪を広げていこうと考えている。テニス愛好者の皆さん、是非連絡を！

連絡窓口：森永 隆宏 電話 042-536-6173
ta-mori@yel.m-net.ne.jp



合宿時：後列左から金子・矢嶋・河上
前列左から森永・村上



ミニ情報



多賀工業会会長に塩幡宏規 (昭 45 学精) 氏が就任！

支部長 上月 秀俊 (昭 36 学機)

日立製作所に長年お勤めされ、平成 12 年機械工学科教授に就任され、平成 22 年より特任教授として在任。大学法人化への環境変化にも対応された経験があり、団塊の世代の若きエネルギーと気配りの良さを感じる新会長です。

女子会

副会長 鈴木 葉子 (昭 62 学化)

今年度は同好会として初年度の活動を行いました。美味しいランチをいただきながら会話して会員相互の親睦を深めています。女子会は工学部の女子卒業生であればどなたでも参加できます。随時、会員募集中です。

1. 平成 25 年 4 月 27 日

新宿小田急百貨店 清月堂にて 参加者 3 名
今後も年数回ランチをしながら、女子会を東京支部同好会として活動することを確認しました。

2. 平成 25 年 5 月 25 日

春日駅 サンマルクカフェにて 参加者 3 名
女子会は東京の会員に限らず、関東地区、関西地区などからも参加できる会としていきます。今回、日立地区から 1 名参加して頂きました。

3. 平成 26 年 2 月 1 日

日立 三春にて 参加者 4 名
海の景色を眺めながら、隠れ家的なお店で和食を楽しみました。来年度の活動内容を話し合いました。年 2 回春と秋に女子会を開催することを計画。春は工学部キャンパスで観桜会を開くことを決めました。今回、日立地区の会員が 1 名増えました。

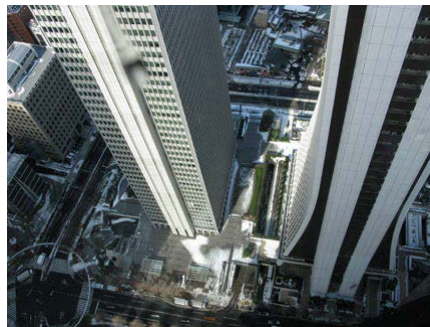


(左から太田・横田・福田・高野)

4. 平成 26 年 2 月 8 日

新宿 センタービルつきじ植むら 参加者 3 名
前日の雪にも関わらず、新宿に集まり松花堂弁当をいただきました。53 階からの雪景色は山も見えて最高でした。

(下記写真は会場から地上を俯瞰した様子です。)



年間計画と秋の行事について検討しました。4 月 6 日の観桜会に参加する学生のお弁当代についても話し合いました。

5. 平成 26 年 2 月 15 日

工学部にて 米倉工学部長、参加者 2 名
女子会の活動内容を説明し、工学部として女子会に期待することをお伺いしました。ご要望は以下の 2 点でした。

- ① 新就活ルールに移行後、インターン先の紹介や就職の支援。
- ② 学生と世代の異なる大人とのかかわり。

女子会から下記のように回答しました。

- ① 現在はおそらくご期待にそえません。
- ② 学生と交流するイベントとして、4 月に観桜会を工学部キャンパスにて行います。

早速、観桜会をサポートしてくださる学生を紹介していただきました。女子会でお手伝いできることは多くはありませんが、お声がけいただき、できることから対応していきたいとお伝えしました。

6. その他

今年度は、OG に対しては多賀工業会会報に同封して、女子会の発足をアピールする女子会連絡先カードを送りました。カードの効果で連絡をいただけるのではと期待していましたが、この方法では新しい方からご連絡頂けませんので、今後は、春と秋に女子会を開催することとし、合わせて、開催前には同窓生への地道な声掛けをしていく所存です。



連絡窓口：

会長 (東京)：太田 悦子 (昭 60 学電)
denki.nohara@gmail.com

平成25年度会費納入者

(敬称略、順不同)

平成26年4月以降の納入は掲載しておりません。

氏名の前の口は平成24年度以前分も同時納入の方で中の数字は繰上年数を示します。

氏名の後の○は平成26年度以降分を同時納入もしくは既納入の方で中の数字は前納となる年数を示します。

* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡お願い致します。また、未納の方はご入金をお願い致します。
Tel:045-755-1588 FAX:03-6862-8291(本名簿作成者:飯塚)

昭16専機 大矢 純一	昭29学原 ②石橋 弘 ②	昭36学機 南部 修哉	昭38学電 坂野 栄
昭17専金 坪能 進	昭29学原 奥野 眞治	昭36学機 森永 隆宏	昭38学電 佐々木 登喜夫③
昭18専機 山本 栄治	昭29学電 ①森 章太郎③	昭36学機 横山 馨	昭38学電 庄田 幸夫
昭18専金 市島 健男 ⑧	昭30学機 小室 敏之	昭36学電 小宅 仁 ③	昭38学電 田川 政行 ①
昭19専原 朽本 二郎	昭30学機 佐藤 久弥	昭36学電 佐伯 明良	昭38学電 橋 弘
昭19専原 藤田 勲	昭30学機 檜山 邦良	昭36学電 橋本 正直	昭38学電 寺内 賢一 ①
昭19専精 柳田 裕美	昭30学原 鈴木 日出男①	昭36学金 鈴江 芳雄	昭38学電 故 高萩 隆司
昭19専精 橋本 良夫	昭30学金 黒澤 正蔵	昭36学金 高信 和明 ①	昭38学電 故 新沼 厚生
昭20専原 友保 伊弘	昭30学金 三本木 武	昭37学機 坏 弘	昭38学電 根本 陽 ①
昭20専精 田島 廣一	昭31学機 高橋 義博 ①	昭37学機 栗橋 貞夫 ①	昭38学電 橋本 政巳 ③
昭20専通 山本 李兵衛	昭31学機 横山 亨夫	昭37学機 澤野 孝慈 ①	昭38学電 綿引 貞男 ③
昭22専機 乗 智成	昭31学原 会田 隆雄	昭37学機 野本 光彦 ⑤	昭38学金 海老原 雄二
昭22専通 今井 俊夫	昭31学原 瀬在 城雄	昭37学機 宮沢 信夫	昭38学化 大塚 進 ⑥
昭22専通 中村 弘	昭31学原 山崎 慎一郎	昭37学電 上田 正雄	昭38学化 小田倉 勝夫
昭22専通 前田 豊昭	昭31学電 大内 孝	昭37学電 佐藤 恭久	昭38学化 小池 利彦
昭22専金 土屋 敏夫 ③	昭31学電 藤川 俊明	昭37学金 篠原 康祐	昭38学化 白石 道彦
昭22専金 増山 哲也	昭32学機 國井 榮次	昭37学金 舟田 隆 ①	昭38学化 高木 二郎
昭23専機 梅田 政夫	昭32学機 平沢 正一	昭37学化 阿部 徳治	昭38学化 矢部 功一 ⑦
昭23専電 塩野 譲	昭32学機 溝口 知昭	昭37学化 寺門 紘	昭38学精 磯部 亮
昭23専金 菊地 秀利	昭32学原 金子 栄	昭38学機 河上 弘一	昭38学精 市村 敬司 ⑥
昭23専金 村山 昭平	昭32学原 榊原 康夫	昭38学機 小林 一	昭38学精 上野 武彦
昭23教電 千野 吉治	昭32学原 矢野 睦男	昭38学機 駒場 方耀	昭38学精 黒羽 昇
昭24専電 白石 壽男 ①	昭32学電 田口 嘉男	昭38学機 桜井 衛	昭38学精 ①西村 正雄
昭24専精 鳥山 尚利	昭32学電 横山 衛	昭38学機 佐藤 幸一	昭38学精 矢嶋 國男
昭24専舶 杉山 六郎	昭32学電 渡辺 英雄 ①	昭38学機 丹下 宏	昭38短機 箱山 雍 ④
昭24専通 海老原 和	昭32学電 小室 秋生	昭38学機 徳江 景英	昭39学機 小林 章夫 ②
昭25専電 高橋 清	昭32学電 山下 正明	昭38学機 豊田 元雄	昭39学機 佐川 六郎
昭25専原 忍田 邦夫	昭33学機 奥 康治 ⑦	昭38学機 中村 好秀	昭39学機 三好 成實
昭26専通 菊地 玲二 ②	昭33学原 ②山崎 勝雄	昭38学機 箱崎 光政	昭39学電 ⑤塚本 文彦
昭28学機 坂場 昭二	昭33学原 吉久保 節男	昭38学機 半田 守正	昭39学電 原 俊彦 ③
昭28学機 斎田 和夫 ①	昭33学電 島田 直彦 ①	昭38学機 益子 洋一	昭39学金 入江 暢泰 ①
昭28学機 高田 丈夫	昭33学電 鳥居 由幸	昭38学電 今橋 富美男	昭39学金 横山 安行
昭28学原 ①戸島 日出雄①	昭33学金 三浦 陽	昭38学電 内田 茂	昭40学機 武田 紀男 ④
昭28学電 稲見 孝	昭34学原 ①篝 能晴	昭38学電 大久 忠雄	昭40学電 手塚 勇夫
昭28学電 故 近江 義勝	昭34学電 千葉 克男 ②	昭38学電 大竹 充	昭40学電 山崎 輝行
昭28学電 白瀬 達郎	昭34学電 結城 佑	昭38学電 兼子 八郎 ④	昭40学精 大泉 雅靖
昭28学電 玉川 信二	昭35学機 高野 久弘	昭38学電 熊谷 文男 ③	昭40学精 寺 紘一
昭28学電 橋本 久美	昭36学機 柏木 尚	昭38学電 小島 淳	昭40学精 堀野 州男
昭28学電 藤田 史郎	昭36学機 上月 秀俊	昭38学電 後藤 紀夫	昭40学化 鈴木 勉
昭28学金 赤城 清	昭36学機 真下 知行 ③	昭38学電 小林 渡	昭40学化 田中 栄太郎

昭40学化 平山 隆司	昭43学子 鈴木 弘道	昭46学電 飯塚 英一	昭53学化 成田 芳徳 ①
昭40学金 松本 二郎	昭43学子 角田 勇	昭46学電 狩野 守	昭53学情 西部 俊憲
昭41学化 青野 潔	昭43学子 野崎 淳一 ④	昭46学子 ②大崎 孝明 ②	昭55学機 長 正彦 ③
昭41学化 岡本 実 ②	昭43学子 袴塚 邦彦	昭46学子 栗原 功幸	昭55院電 ①丸島 國義
昭41学化 小沼 淳志 ⑥	昭43学金 鈴木 竹四	昭46学子 安田 健博 ②	昭55院子 竹井 日出夫
昭41学化 斎藤 保夫	昭43学化 池上 毅	昭46学金 大井川 勝雄 ②	昭56学機 峰村 勝幸
昭41学化 橋川 隆夫	昭44学電 緑川 晃 ①	昭46学金 今富 久雄	昭57学機 水口 一郎 ①
昭41学化 矢島 勝司 ②	昭44学子 阿部 正志	昭47学機 高田 洋 ②	昭58学機 有路 博 ②
昭42学機 小森 廣樹	昭44学子 五十嵐 幸治	昭47学機 西岡 周二 ④	昭59学機 原 保則
昭42学機 菅谷 禎男	昭44学子 石川 久 ②	昭47学子 五十嵐 喜良 ④	昭59学子 仲澤 斉
昭42学機 藤嶋 久波	昭44学子 常盤 浩央	昭48学機 金子 芳久 ⑦	昭60学電 太田 悦子 ④
昭42学電 粕谷 利夫 ③	昭44学子 野澤 敏矩 ④	昭48学機 ⑤村上 宗久 ④	昭60学精 ①豊福 秀敏
昭42学電 森田 徹郎	昭44学子 吉田 真吾	昭48学精 福島 良信 ④	昭62学化 鈴木 葉子
昭42学電 山田 恵規 ⑤	昭44学精 菊地 政行	昭48学金 小川 公史	昭63院情 二川 克美
昭42学精 山本 蕃	昭44学金 酒井 茂	昭48学金 佐々木 光正	平8学電・子 生井澤 伸秋①
昭42学金 小菌井 健 ②	昭45学電 小滝 麟太郎	昭49学機 柳下 幸夫	平8院生 東 學 ①
昭43学機 遠藤 義和 ①	昭45学電 永木 利夫 ⑨	昭49院子 松田 秀雄 ②	平9学都 小林 靖典
昭43学電 後藤 豊弘 ④	昭45学子 藤枝 伸一	昭50学子 松田 実	平10学機 山本 夏江 ①
昭43学子 小澤 茂 ②	昭45学精 伊藤 茂	昭52学子 福田 光男	平10学機 吉田 順子
昭43学子 金子 民生	昭45学精 黒澤 郁雄 ④	昭53学子 小澤 喜宏	平19学都 藤井 貴弘
昭43学子 佐藤 将彦	昭46院機 岡本 和彦 ④	昭53学子 加藤 邦治	

合計 243名

平成25年度寄付者名簿

(敬称略、順不同)

昭19専原 枅本 二郎	10,000	昭19専金 市島 健男	10,000
昭29学金 石橋 弘	10,000	昭31学機 新田 和夫	10,000

ご寄付有難うございました。

年会費納入のお願い：添付の払込取扱票でお早めにご入金下さい。
ご寄付の場合もこの用紙をお使い下さい。

皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっています。
この年会費納入者名簿にお名前がなければ、昨年度（平成25年度）の年会費は未納となっています。
会員の皆様の過去5年間分の会費納入状況データを、皆様宛会報送付封筒の宛名書き部分に、表示しました。

卒業年学科の後の(H21～H25)に続く、「1」と「0」だけからなる5桁の数字です。「1」は年会費納入を示し、「0」は年会費未納を示します。H21年からH25年までの納付状況が、5桁の数字の左側から右側に向けて順に表示されています。下記例示をご覧ください。 <宛名サンプル例示(C)に該当します>

- (A) 11111→5年間分完納。
- (B) 11110→4年間納付したが昨年度分は未納。
- (C) 11100→3年間納付したが一昨年から2年分未納。
- (D) 00000→この5年間未納。会報未送付年を含む。
- (E) 00111→H22から3年間納付。会報未送付年を含む。

101-1234 会報17号在中
東京都千代田区多賀町1-2-3
多賀本町住宅 3番街 5-2345
多賀専 学太郎様
昭XX学○ (H21～H25) 11100

平成 26 年度東京支部 組織体制と担当役務

- ・顧問 渡辺 貢 (昭 26 専原)、
三本木 武 (昭 30 学金、多賀工業会副会長・理事)、鈴木 日出男 (昭 30 学原)
- ・支部長 上月 秀俊 (昭 36 学機、多賀工業会理事)
- ・副支部長 駒場 方耀 (昭 38 学機)、小林 渡 (昭 38 学電)、兼子 八郎 (昭 38 学電)
- ・幹事会 幹事長 小林 一 (昭 38 学機)
副幹事長 大泉 雅靖 (昭 40 学精)
会計幹事 森田 徹郎 (昭 42 学電)
- ・監事 高木 二郎 (昭 38 学化)、田中 栄太郎 (昭 40 学化)
- ・会報編集室 編集室長 金子 芳久 (昭 48 学機)
副編集室長 柳下 幸夫 (昭 49 学機)
編集室員：石川 久 (昭 44 学子)、藤枝 伸一 (昭 45 学子)、
三本木 武 (昭 30 学金)、鈴木 日出男 (昭 30 学原)、山崎 慎一郎 (昭 31 学原)、
兼子 八郎 (昭 38 学電)、小林 渡 (昭 38 学電)、鈴木 葉子 (昭 62 学化)、
二川 克美 (昭 63 院情)
- ・ホームページ編集室 編集室長 矢野 睦男 (昭 32 学原)
副編集室長 飯塚 英一 (昭 46 学電)
- ・名簿編纂室 編纂室長 飯塚 英一 (昭 46 学電)
副編纂室長 兼子 八郎 (昭 38 学電)
昭 16 年から 26 年担当 兼子 八郎 (昭 38 学電)
昭 28 年から 35 年担当 山崎 慎一郎 (昭 31 学原) 注) 昭 27 年度卒は無。
昭 36 年から 45 年担当 駒場 方耀 (昭 38 学機)
昭 46 年から 50 年担当 大泉 雅靖 (昭 40 学精)
昭 51 年から 55 年担当 柳下 幸夫 (昭 49 学機)
昭 56 年から 60 年担当 飯塚 英一 (昭 46 学電)
昭 61 年から平成 7 年担当 二川 克美 (昭 63 院情)
平成 8 年から平成 25 年担当 黒澤 郁雄 (昭 45 学精)
女子会担当 太田 悦子 (昭 60 学電)
- ・幹事会事務局の構成と役務
上月 秀俊 (昭 36 学機) 全般事項 (含む総会関係)
小林 一 (昭 38 学機) 主に幹事会担当
駒場 方耀 (昭 38 学機) 事務局担当
兼子 八郎 (昭 38 学電) 主に会報担当
飯塚 英一 (昭 46 学電) 主に名簿、ホームページ担当
森田 徹郎 (昭 42 学電) 主に会計担当
- ・同好会
囲碁部 部長 田中栄太郎 (昭 40 学化)、 副部長 山田 恵規 (昭 42 学電)
ゴルフ部 部長 青野 潔 (昭 41 学化)、 副部長 佐藤 将彦 (昭 43 学子)
写真部 部長 三好 成實 (昭 39 学機)、 副部長 山崎慎一郎 (昭 31 学原)
山遊会 会長 小森 廣樹 (昭 42 学機)、 副会長 石川 久 (昭 44 学子)
副会長 小宅 仁 (昭 36 学電)
副会長 青野 潔 (昭 41 学化)
女子会 会長 太田 悦子 (昭 60 学電)、 副会長 鈴木 葉子 (昭 62 学化)
社交ダンス部 休部
テニス部 部長 森永 隆宏 (昭 36 学機)、 副部長 河上 弘一 (昭 38 学機)

「東京支部会則」

第1章 総則

第1条 本会は、多賀工業会東京支部と称し、その支部事務所を支部長宅に置く。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校の隆昌に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 本会は、第2条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員名簿の整備・管理
- (3) 会員相互の連絡及び共励共助
- (4) 会員と母校との連絡
- (5) 発展向上のための講演会、研修会
- (6) 同好会活動
- (7) その他目標達成のため必要と認める事項

第3章 会員

第4条 本会の会員は、多賀工業会の会員で東京・神奈川及び近隣に在住・在勤している者、並びに支部長が特別に承認した者とする。

第4章 役員

第5条 本会は次の役員を置く。

- 支部長 1名
副支部長 若干名
幹事長 1名
幹事 若干名
会計幹事 1名
監事 2名

その他（同好会幹事、相談役、顧問など）若干名

第6条 役員は、次の方法によって定める。

支部長は、幹事会の互選とし総会での承認を得るものとする。

支部長以外は、支部長が推薦し、現幹事会の決議を得るものとする。

第7条 役員の仕事は、次の通りである。

- 支部長 本会を代表し、会の運営・会務執行の責めに任ずる。
副支部長 支部長を補佐し、支部長が職務不能な時はその責務を代行する。
幹事長 幹事の業務を統括する。
幹事 会の運営業務を夫々分担して遂行する。
会計幹事 本会の収支、及び会計を担当する。
監事 会計を監査し総会で報告する。
同好会幹事 同好会毎に部長、副部長等を定め、自主的に運営する。
相談役 支部長の相談に応ずる。
顧問 支部長・幹事会の諮問に応ずる。

第8条 役員の仕事は2年とし、重任を妨げない。

第5章 会議

第9条 支部総会は、原則として毎年10月に開催する。但し、必要に応じ臨時支部総会を開くことができる。

第10条 支部総会は、次の事項について審議し、出席過半数の賛成で決議する。

- (1) 支部長人事
- (2) 会則の改廃
- (3) 本会の年度決算並びに次年度予算
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画
- (5) 幹事会からの提出議案
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第11条 幹事会は、幹事をもって構成し原則として年4回（2、5、8、11月の第4土曜日）開催する。但し、必要に応じ支部長又は幹事長が臨時に召集し開催できる。

第12条 幹事会は、次の事項について審議し、出席者の3分の2以上の賛成で決議事項とする。

- (1) 支部長の互選及びその他役員決定
- (2) 会則の改廃案
- (3) 本会の年度決算案並びに次年度予算案
- (4) 本会の年度事業報告案並びに次年度計画案
- (5) 総会への提出議案
- (6) 細則規定の改廃
- (7) その他会務運営上必要な事項

第6章 会計

第13条 本会の経費は、会員の年会費、寄付金及び本部補助金をもってあてる。

第14条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第15条 本会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

第16条 本会の収支は、会計幹事が担当し、監事が会計監査を行い総会に報告する。

付則 本会則は、平成16年10月23日より施行する。

細則規定

第1条 年会費は2,000円とし、会計年度内に徴収する。複数年度分の先行納入は拒まない。

- (1) 但し、一旦納入の会費は返還しない。
- (2) 会計幹事は年会費の銀行預金口座、郵貯振込口座の管理をおこなう。

第2条 会報は次の者に配布する。

- (1) 年会費納入者（但し、5年連続未納者には以降配布を停止することが出来る。）
- (2) 支部総会参加者
- (3) 東京・神奈川に在住・在勤の直近3年間の卒業
- (4) 配布希望者で支部長が許可した者
- (5) その他多賀工業会本部及び支部等の関係者

第3条 総会開催の案内は、会報にて発表するとともに書面で通知する。書面による通知は、第2条の対象者以外にも広げて発送する。

第4条 慶弔規定は別途定める。

第5条 80歳到達の役員経験者に記念品を贈呈することが出来る。

第6条 幹事会に事務局長を置き、幹事会の取りまとめを行う。また、幹事長を補佐する副幹事長をおく。

第7条 本細則の改廃は、幹事会にて行う。

本細則は平成16年10月23日よりより施行する。平成23年8月27日に第1条(2) 追加、第2条(1) 修正、第6条を追加した。旧第6条は第7条とした。

第33回同窓の集い写真展出展リスト

<注> 特記事項欄のDはデジタルカメラによる撮影、FRはリバーサルフィルムによる撮影です。
題名の前の「26P」欄の○印の作品は右頁にカラー版で掲載されています。

氏名	卒年・科	26P	題名	撮影地	特記事項
鈴木日出男	昭30学原	○	私の夏休み	新潟県・津南町	D：平成25年 埼玉県展入選
山崎慎一郎	昭31学原	○	コンニチハ！	スペイン・バルセロナ	D：
			ネエーネエー教えてよ	福島県・いわき市	D：
坪 弘	昭37学機	○	青と白の教会	ギリシャ・サントリーニ島	D：
			イグアス・大瀑布	アルゼンチン	D：
小林 渡	昭38学電	○	キャンドル・ナイト	ネパール・パンデブル	D：
			祈る	ネパール・パダン	D：
三好 成實	昭39学機	○	森戸海岸暮色	神奈川県・逗子市	FR：
			八月炎天	東京・丸の内	D：
高橋 伸二	昭40学機	○	田植えは楽し	さいたま市・見沼田圃	D：
柳下 幸夫	昭49学機		マニラ湾の夕日	フィリピン・マニラ	FR：
		○	真夏のメンヒ	スイス・アルプス	FR：

編集後記

◆講演会概要「iPS細胞について～現状と臨床応用への展望～」
で高木先生のご厚意により多賀

工業会東京支部ホームページに講演内容全文掲載しました。URL : <http://tokyo.tagakgk.com/> 行事報告 平成25年度「多賀工業会東京支部同窓の集い」報告 第2部講演会<講演内容>参照下さい。特に「長生きの秘訣」は健康に役立つ情報が掲載されています。

(小林 渡)

◆会報6号の時、支部幹事と会報編集委員を拝命し、そのとき「ふたりの終の棲家」という題で小文を寄稿した。そして翌年の7号からこの会報の編集をやるようにと申しつかった。それまで「高校の新聞づくりには関わったことがある」ぐらいのことだった自分にとっては荷が重そうに思えた。やるだけやってみようと思って立ち、無我夢中でやっているうちに、16号までの10冊が出来上がった。引き継いだ時は紙情報から文字数を数え紙面にどの様に納めるかと言った感じのやり方の方であったし、それを紙情報のまま印刷屋さんに戻すというものであったから、パソコンを使って編集しようと思いついた。E-mailをお使いの執筆者には出来るだけワード文で仕上げて頂くようお願いし、パソコンを使わない方からの手書きの文だけ自分で入力した。16号では手書き1件とワープロ仕上げ文1件（これはスキャナーで読み取りワード文に変換出来た）で入力作業はほとんど不要となってきた。この様にして1頁毎にワード文を纏め編集して印刷屋さんに戻すから、印刷費用が激減したと喜ばれた。今回

の17号はこの役目を金子芳久氏に引継ぎ、専らお手伝いとして関わった。執筆者、読者の皆さんに対しこれまでのご協力に御礼を申し上げる。(兼子八郎)

◆定年退職を機に少しでも母校の役に立とうと思い、昨年からは東京支部会報編集委員に名を連ねていましたが、今年になって、会報編集室長を仰せつかりました。しかし、40年に渡るサラリーマン生活でも、編集に関わった経験は全くありません。したがって、どこまで出来るか判りませんが、全力を尽くすつもりです。それには前任者から会報作成のマニュアルを頂くとともに、皆さんからの全面的なアドバイスが必要です。言葉だけでなくデータが添付されたアドバイスであれば、私でも理解ができ役目を果たせるのではないかと思います。また一方では、新設のテニス部にも参加し、同窓生との親睦を深めていきたいと考えています。簡単に自己紹介しますと、先に触れたテニス・溪流釣り・山野草の写真撮影・パソコンを使った写真の加工やカレンダー作り等が趣味で、広く浅く何にでも興味を持ちたがるタイプです。今後、会員の皆様には会報の原稿作成・提出の面でいろいろと無理なお願いをすることになると思いますが、どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。(金子芳久)

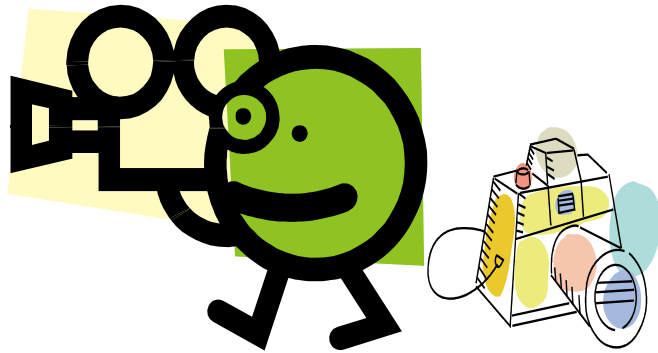
◆今年度、副編集室長を拝命しました柳下です。今の会社でも社報編集に携わっていますが、原稿の集まりが悪く、腐心しております。結局、今はやりのゴーストライターが暗躍するハメになっています。それに引き替え当会の方々は、原稿作成に真摯に取り組んでおられ、頭が下がる思いです。今後とも引き続きご協力のほどお願い申し上げます。(柳下幸夫)

編集室員 金子 芳久 (昭48学機) (室長)
柳下 幸夫 (昭49学機) 三本木 武 (昭30学金)
鈴木日出男 (昭30学原) 山崎慎一郎 (昭31学原)
兼子 八郎 (昭38学電) 小林 渡 (昭38学電)
石川 久 (昭44学子) 藤枝 伸一 (昭45学子)
鈴木 葉子 (昭62学化) 二川 克美 (昭63院情)

多賀工業会東京支部会報 [第17号]
発行 平成26年8月23日
発行者 支部長 上月 秀俊
〒165-0034 東京都中野区大和町3-21-12
TEL 03-3337-1300 FAX 03-3337-2715

平成 25 年度同窓の集い
写真展 (出展リスト: 25 頁)

作品の中から



高橋 伸二 (昭40学機)
「田植えは楽し」さいたま市見沼田圃



鈴木 日出男 (昭30学原)
「私の夏休み」新潟県津南町



山崎 慎一郎 (昭31学原)
「コンニチワ！」
スペイン・バルセロナ



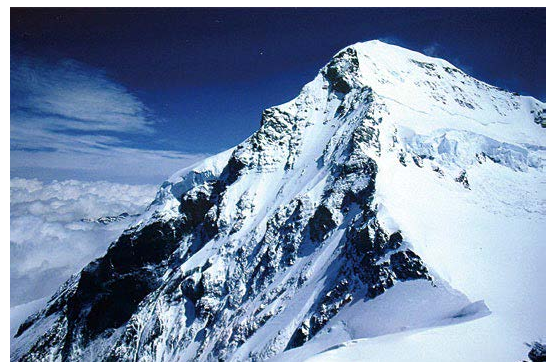
小林 渡 (昭38学電)
「キャンドル・ナイト」
ネパール・パンデブル



三好 成實 (昭39学機)
「森戸海岸暮色」
神奈川県逗子市



坪 弘 (昭37学機)
「青と白の教会」
ギリシャ・サントトリーニ島



柳下 幸夫 (昭49学機)
「真夏のメンヒ」
スイス・アルプス

ご披露宴・結婚式場

大親の絵のあるレストラン

ランドーレ

不忍池と上野の社を眼下に眺めて

ビヤガーデン

ご宴会・出張料理

伝統に培われた純フランス料理

グリル フクシマ

創業明治5年

〒110-8715 東京都台東区上野公園 4-58
TEL 03-3821-2181 FAX 03-3822-1330
<http://www.seiyoken.co.jp>

五野精養軒

casita
[カシータ]

新しい資産形成の考え方

インカム住宅を建てることで
自分たちの住む家にかかる支出を0(ゼロ)にする。

戸建賃貸住宅 casita

詳しくはwebで。

資料請求、お問い合わせは
こちらまでお気軽に! **0120-355-347**

建設業許可番号 / 茨城県知事登録(特-22)第19313号 日立市多賀町2-4-6 株式会社 ジュンホーム

茨城大学工学部
S.41(学化)
後援会長

(株)ジュン・ホーム
代表取締役
小沼 淳志

私たち大協印刷は、
印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。
ぜひ一度ご相談ください。

大協印刷株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14
TEL: 03-3837-5291 / FAX: 03-3837-5293 E-mail: info@daikyo-print.co.jp
<http://www.daikyo-print.co.jp>

DAIKYO PRINTING Co.,LTD.